

事業番号										273							
平成 2 5 年行政事業レビューシート												(厚生労働省)					
事業名		地域保健活動検討経費				担当部局庁		健康局			作成責任者						
事業開始・終了(予定) 年度		平成17年度				担当課室		がん対策・健康増進課地域保健室			地域保健室長 政田 敏裕						
会計区分		一般会計				政策・施策名		I-10-1 地域住民の健康の保持・増進及び地域住民が安心して暮らせる地域保健体制の確保を図ること									
根拠法令 (具体的な条項も記載)		—				関係する計画、通知等		—									
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		地域保健活動の効果的な推進を図るため、公衆衛生に従事する医師の育成・確保、並びに生涯を通じた継続的な健康づくり体制を構築するため、地域・職域連携推進協議会の設置等を支援し、地域保健と職域保健の連携を図る。															
事業概要 (5行程度以内。別添可)		・地域保健活動の効果的な推進 地域保健活動の効果的な推進を図るため、保健所及び地方衛生研究所への運営指導を行うとともに、公衆衛生医師の育成及び確保を推進する。 ・地域保健と職域保健の連携の支援 生活習慣病予防のため、個々人の主体的な健康づくりへの取組や生涯を通じた継続的な健康づくり体制を構築することとしていることから、都道府県等における地域・職域連携推進協議会の設置・運営を支援し、地域保健と職域保健の連携の全国的な展開を推進する。															
実施方法		■直接実施 □委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他															
予算額・執行額 (単位:百万円)				22年度		23年度		24年度		25年度		26年度要求					
		予算 の 状 況	当初予算		10		10		10		9		7				
			補正予算														
			繰越し等														
		計		10		10		10		9		7					
		執行額		7.5		7.1		7.8									
		執行率(%)		75		71		78									
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標						単位		22年度		23年度		24年度		目標値 (年度)	
		地域保健活動の推進				成果実績				—		—		—		—	
						達成度		%		—		—		—			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標						単位		22年度		23年度		24年度		25年度活動見込	
		公衆衛生医師の育成及び確保の推進 地域・職域連携推進協議会の設置及び運営の支援				活動実績 (当初見込み)				— (—)		— (—)		— (—)			
単位当たりコスト		—				算出根拠		—									
平成 2 5 ・ 2 6 年 度 予 算 内 訳	費 目		25年度当初予算		26年度要求		主な増減理由										
	職員旅費		1		1		前年度限りの経費に伴い減額。										
	庁費		7		5.5												
	その他		1		0.5												
計		9		7													

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	公衆衛生医師の育成・確保による地域保健体制の構築、地域保健と職域保健の連携の支援による生涯を通じた健康づくり体制の構築に係る経費であり、国民の健康の保持増進に繋がることから、国民のニーズがある経費である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	地方自治体では実施できない全国的な事業の実施や、関係者会議による好事例の普及等を実施している。	
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	公衆衛生医師の育成・確保による地域保健体制の構築、地域保健と職域保健の連携の支援による生涯を通じた健康づくり体制の構築に係る経費であり、国民の健康の保持増進に繋がることから、優先度が高い経費である。	
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			－	－	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			－	－	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			－	－	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			－	－	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	本経費は、地域保健活動に伴う会議開催等に係る経費であり、実情に応じて適切に執行する。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			○	公衆衛生医師確保のための普及啓発に係る費用が見込みより少なかったため、一定の不要が生じた。	
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			－	－	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			－	－	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			－	－	
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			－	－	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	－	－	－			
	－	－	－			
点検 結果	本経費は、地域保健対策の効果的な推進を図るため、公衆衛生医師の育成・確保、地域保健と職域保健の連携の支援、地域健康危機管理計画の推進を図るものであり、広く国民の健康の保持増進に寄与するものである。24年度は公衆衛生医師確保のための普及啓発にかかる費用が見込みより少なかったため、不用が生じたところだが、23年度と比較して執行率は上がってきていることから、今後はさらに適正かつ効率的な執行を図る。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状 通り	本経費については、恒常的に不用が生じている状況であるが、保健所や地方衛生研究所への教育など、地域保健の効果的な推進を図るために必要な経費であることから、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状 通り	－					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	296	平成23年	0270	平成24年	0234

平成24年度

厚生労働省
8百万円

公衆衛生医師の育成・確保、地域保健と職域保健の連携の支援、
地域健康危機管理計画の推進を図るために必要な事務費

事務費
8百万円

旅費、謝金等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載）

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					